

北海道地方－雄大な自然とともに生きる人々のくらし－

本単元で育成する資質・能力

思考力 自己効力感

1 単元について

(1) 単元観

本単元は、地理的分野の内容(2)ウ「日本の諸地域」の(ア)「自然環境を中核とした考察」に基づいて行うものである。本単元では、地域の自然環境に関する特色ある事象に着目し、それを人々の生活や産業などと関連付けて追究し、考察することで地域的特色を捉えさせることをねらいとしている。北海道地方は、農業、水産業、観光業などの主力産業の多くが、その特色ある自然環境の上に成り立っていること、また、人々は北海道の厳しい自然環境に適応しながら生活していることから、自然環境を中核とした考察を行うために適した地域であると考え。北海道地方の学習を通して、自然環境を中核とした考察の仕方を身に付けさせるとともに、発展的な学習として、この考察の仕方を他の地域に活用することで、地理的な見方や考え方をより確かなものにするるとともに、自然環境はいずれの地域においても人々の生活や産業を深いかかわりを持っている、という一般化された知識を身に付けさせることができると考える。

(2) 生徒観

これまでの日本の諸地域における学習には、生徒は概ね意欲的に学習に取り組んでいる。資料を読み取ったり、読み取ったことをグループで考えたりする活動にも積極的である。第2学年を対象に行われた平成27年度広島県「基礎・基本」定着状況調査の生徒質問紙調査において、「新聞やテレビのニュースを見ています。」という設問に対して、肯定的な回答が89.1%と比較的高く、社会的な事象に関心が高いことが窺える。しかしながら、複数の資料を関連付けて考察したり、考察した結果を論理的に説明したりする力は十分とはいえない。また、先ほどの質問紙調査によると、「授業では、調べたことなどを、図、グラフ、表などにまとめています。」という設問に対して、肯定的な回答が59.1%と低い数値になっている。このことから、調査したことを図にまとめて考察させるなど、事象間を関連付ける活動を行うとともに、それを説明する活動を意図的に行わせ、思考力・判断力・表現力をしっかりと身に付けさせたい。

また、これまでの日本の諸地域学習で学んだ地理的な見方や考え方を生かすことにもしっかり取り組ませたい。

北海道地方について、事前に行ったアンケート結果からは、「じゃがいもなどの畑作がさかん」「バターやチーズが有名」「寒い」「広い」「雪が多い」などといったイメージや断片的な知識はもっているが、それらを関連付けて捉えている生徒は少ない。

(3) 指導観

指導の工夫として、次の3点を取り入れる。

【①導入の工夫】

北海道地方は広島県からは遠く、生徒にとってテレビ等のメディアを通じて得たイメージが中心であり、北海道の地域的特色をその特色が生じた背景や要因と関連させて理解できている生徒はほとんどないと思われる。そこで単元の導入では、生徒の持っているイメージ等を生かしながら、北海道に関する統計資料・写真などを活用し、これまで学習した他地域との違いが明確になるような工夫を行い、北海道地方への関心を高めるとともに、これまでの日本の諸地域の学習を生かし、北海道の自然環境の特色を、視点を定めて具体的に捉えさせるようにする。

また、単元を貫く問いを設定し、常に課題意識を持って学習に取り組めるようにする。さらに、北海道の農業や水産業等の特色を捉えさせる学習では「～なのに、なぜ～なのだろう。」といった、生徒に認知的不協和を起こさせるような問いを提示することで、意欲的に課題追究できるようにしていきたい。

【②小集団での学習】

農業、水産業、人々の生活の工夫など、各時間の学習においても、「Y チャート」などの思考ツールを活用し、小集団を活用しながらカードにまとめる取組を行う。単元末に、北海道の地域的特色を考察する際には、より一般化された知識が習得できるように、小集団で「クラゲ・チャート」を活用したまとめを行う。カードをもとに「クラゲ・チャート」を完成させることで、単元を貫く問いである「自然環境からみた北海道の地域的特色は何か。」に迫る。

【③振り返りの充実】

学習の振り返りではめあてに対する自己評価に加え、意図的に身近な地域のくらしに置き換えさせるような学習を取り入れる。また、発展的な学習として、本単元（北海道地方）で身に付けた考察の仕方を他の事例（九州地方）でも行い、考察の仕方をより確かなものとするとともに、「自然環境は地域の人々の生活や産業などと深い関係がある」という、どの地域にも当てはまる一般化された知識の習得につなげ、その知識を持って地域の特色を探ろうとする態度を育てていきたい。

2 単元目標

○北海道地方の地域的特色を、自然環境を中核として考察しまとめることができる。

3 単元の評価規準

① 社会的事象への 関心・意欲・態度	② 社会的な思考・ 判断・表現	③ 資料活用の 技能	④ 社会的事象につ いての知識・理解
北海道地方の自然環境、人口、産業などの特色について概観する中で、特に広大で冷涼な自然環境に関心を持ち、設定した課題をもとに地域的特色を意欲的に追究しようとしている。	北海道地方の人々の生活や産業を自然環境の特色とともに社会的条件とも関連付けて考察している。	北海道地方の地域的特色について、有用な情報を適切に選択している。	北海道地方について、自然環境を中核とした考察をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。

4 本単元において育成しようとする資質・能力との係り

本単元の指導において取り入れる資質・能力は次の通りである。

学習活動	育成する資質・能力	具体的な姿
調べたことや考えたことを発表する活動	表現力	資料を活用しながら，論理的に説明している。
事象を関連付ける活動	思考力	整理・分類し，関連させて考えている。 既習事項を生かして，創造している。
資料を読み取る活動	自己効力感	根拠ある自分なりの考えをもつ。 他者の考えを受け入れる態度
小グループでの活動	責任感	決められた役割を，責任をもって果たす。

5 指導と評価の計画（全7時間）

時	学習内容	評価					
		関	思	技	知	評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価 (評価方法)
1	<p>課題の設定</p> <p>① 北海道に関する事前アンケートの結果を発表する。実際のデータ（全国順位等）と照らし合わせる。 ② 事前課題プリント（北海道の自然）を確認し、既習事項である自然環境を捉える視点（<u>地形</u>…山地、山、平野、川、海岸線などの分布や大きさなど、<u>気候</u>…気温、降水量、風など、<u>土壌</u>、<u>海流</u>、<u>海洋</u>など）をもとに、他の地方と比べた北海道地方の自然環境の特色を発表する。 ③ 発表をもとに、地図等の資料を確認しながら北海道地方の自然環境の特色についてまとめる。 ④ アンケート結果と自然環境の特色の関連について予想する。 ⑤ 単元を貫く問いを設定する。 「北海道地方の産業や人々の生活は、自然環境からみるとどんな特色があるのだろう。」</p>	◎				北海道地方の自然環境について関心をもち、設定した課題を意欲的に追究しようとしている。（行動観察） ○ 北海道地方の自然環境の特色を捉えている。（ノート）	<p>【思考力】 他地域と比較して考えている。（発表）</p> <p>【自己効力感】 根拠をもとに自分なりの予想をしている。（ノート・発表）</p>
2	<p>情報の収集 整理・分析</p> <p>① 前時で学習した北海道の自然環境の特色を確認する。 ② 事前アンケートに出てきた農産物等を取り上げながら、北海道地方の主な農産物の生産量の全国に占める割合を示したグラフを見て、グラフから読み取れることを発表する。 ③ 本時の課題を設定する。 「北海道地方は冷涼な気候で降雪量も多いのに、なぜ、農産物の生産量が多いのか説明しよう。」 ④ 予想する。 ⑤ 主な農作物の生産の分布を確認し、米、じゃがいもの生産、酪農について、なぜ、その地域で行われているのか、どのように行われているのかを、3つのグループに分かれ、それぞれに資料をもとに考え、考えたことを発表する。 ⑥ それぞれの発表をYチャートに記録し、Yチャートをもとにまとめ、説明する。カードに整理する。自然条件と関連付けてまとめる。 ⑦ 振り返りを行う。</p>		◎		○	北海道地方の農業の特色を、自然環境との関係で考察し、その知識を身に付けている（カード、振り返り）。	<p>【思考力】 農産物の生産を自然環境と関連付けて考えている。（カード）</p> <p>【責任感】 決められた役割を、責任をもって果たしている。（行動観察）</p>

3	<p>情報の収集</p> <p>整理・分析</p> <p>① 既習事項である北海道の自然環境の特色（海洋，海流，海岸線等）を確認する。</p> <p>② 事前アンケートを活用しながら，北海道の水産物として知っているものを発表する。</p> <p>③ 本時の課題を設定する。 「同じように海に囲まれている日本の中で，なぜ，北海道の漁獲量が全国一位なのか説明しよう。」</p> <p>④ 予想する。</p> <p>⑤ 現在の北海道地方の主な水産物の生産量の全国に占める割合，北海道の漁獲量の変化を示したグラフを見て，グラフから読み取れることを発表するとともに，主な漁場や港を確認する。</p> <p>⑥ 北海道地方の水産物の特色をグループごとにまとめ，説明する。カードに整理する。</p> <p>⑦ 振り返りを行う。</p>		◎		○ 北海道地方の水産物の特色をについて，自然環境との関係で考察し，その知識を身に付けている（カード，振り返り）。	<p>【表現力】 資料を活用しながら論理的に説明している。（発表）</p> <p>【自己効力感】 根拠ある自分なりの考えをもつことができている。（ワークシート）</p>
4	<p>情報の収集</p> <p>整理・分析</p> <p>① さっぽろ雪祭りの写真を提示し，雪祭りに来る観光客の数を予想する。</p> <p>② 北海道の観光客数と広島県の観光客数を比較する。</p> <p>④ 本時の課題を設定する。 「寒さが厳しい北海道に，なぜ多くの観光客がやってくるのか説明しよう。」</p> <p>⑤ 予想する。</p> <p>⑥ 北海道への月別観光客数，目的別の観光客数，旅行者等が出している北海道の観光地ランキングを見て，北海道の観光業の特色を考える。</p> <p>⑦ 北海道地方の観光業の特色をグループごとにまとめ，説明する。カードに整理する。</p> <p>⑧ 振り返りを行う。</p>			○	北海道地方の観光業の特色を捉えるために，資料を適切に選択し，読み取っている。（カード，振り返り）。	<p>【責任感】 他者の考えを受け入れている。（行動観察）</p>

5	<p>情報の収集</p> <p>整理・分析</p> <p>① 既習事項（北海道の自然環境の特色）をノートで確認する。 ② 「厳しい自然条件の中で暮らしていくためにはどんな工夫が必要か調べてまとめよう。」 ③ 暮らしていく上で問題になることを考え発表する。 ④ 寒さ、雪、火山の三つについて、グループを割り当て、どのような工夫で問題を解決しているかを調べ、調べた結果を説明する。カードにまとめる。 ⑥ 振り返りを行う。</p>			○	<p>北海道地方の生活の工夫をまとめるために、資料を適切に選択し、読み取っている。（カード、振り返り）。</p>	<p>【自己効力感】 根拠ある自分なりの考えをもつことができている。（ワークシート）</p>
6	<p>まとめ・創造・表現</p> <p>学習したことを活用して、単元を貫く問いである「自然環境からみた北海道の地域的特色は何か。」を考え、説明する。その際に単元を通して書いてきた授業の振り返りカードを使って「クラゲ・チャート」を完成させる。</p> <p>【本時】</p>		◎	○	<p>北海道地方の産業や人々の工夫を自然環境の特色と関連付けて考察し、その結果、得た知識をもとに説明している。（ワークシート）。</p>	<p>【思考力】 整理・分類し、関連させながら考えることができている。（ワークシート）</p>
発展	<p>ふりかえり</p> <p>実行</p> <p>既習事項である、九州地方の産業の特色や人々の暮らしを、自然環境の特色と関連付けて考える。北海道地方で身に付けた考察の仕方や知識を九州地方で活用し、どの地域でも自然環境と人々の生活が密接につながっていることを理解する。</p>	◎		○	<p>九州地方の産業や人々の工夫を自然環境の特色に関連付けて考察している。（ワークシート）。</p> <p>学んだことを生活に生かそうとしている。（ノート）</p>	<p>【思考力】 既習事項を生かして創造している。（ノート）</p>

6 本時の展開（6時間目）

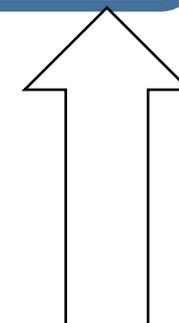
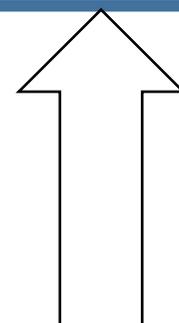
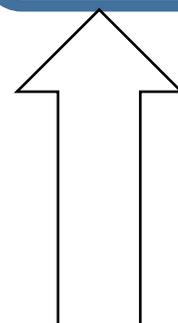
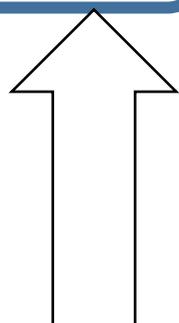
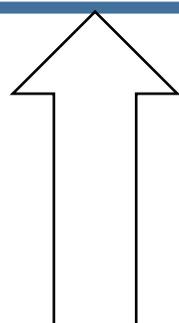
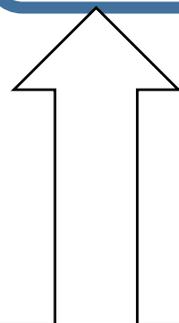
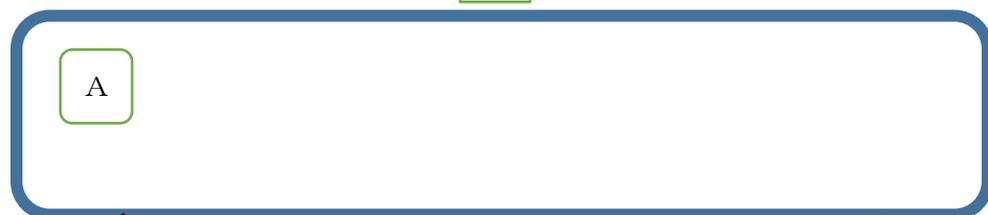
- (1) 本時の目標 北海道地方の地域的特色について、自然環境の特色と関連させて考え説明することができる。
- (2) 準備物 ホワイトボード、マジック、写真、地図、指示棒
- (3) 学習の展開

	学習内容 (○予想される 生徒の反応)	指導上の留意点(・) 配慮を要する生徒への支援(◆)	評価規準(評価方法) 教科の指導事項(○) 資質・能力(★)
導入	1 単元の学習を振り返り、この単元のゴールを確認する。	・資料や写真などを黒板に提示して、単元の学習を想起させる。	
展開	北海道地方の産業や人々の生活は、自然環境からみるとどんな特色があるのか説明しよう。		
	2 農業、水産業、観光業、人々の生活の特色で学んだことをもとに※「クラゲ・チャート」を作成する。 【グループ活動】	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの授業でグループごとに記入しているカードを配布する。 ◆協議が進みにくいグループには、ヒントカードを示す。 ・どんな例がありますか。ア～カから考えてみよう。 ・ア、イ、ウをまとめる語句を考えよう。 ・AとBを対比させる書き方にしてみよう。 	<p>★【思考力】整理・分類し、関連させながら考えることができる(ワークシート)。</p>
開	3 「クラゲ・チャート」を完成し、グループ毎に発表する。【グループ活動】〔代表が前に出て説明する〕 ○気候と地形にまとめることができた。 ○自然が生活や産業ととても深くかかわっている。	<p>※<別紙資料参照></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章へのまとめ方を指示する。(まとめ例) 	○北海道地方の産業や人々の生活を自然環境に関連付けて考察し説明している(ワークシート)。
	4 北海道地方の特色を文章でまとめる。 【個人思考】	<p>北海道地方の特色は、一言で言えば、自然環境が人々の生活や産業などと非常に深くかかわっているということです。例えば、農業はその広大な土地を生かした大規模経営を行い、冷涼な気候を生かした農産物の生産や酪農が行われています。水産業も周囲が海に囲まれていることや冷涼な北海道地方ならではの水産物の水揚げや養殖が行われています。また、さっぽろ雪祭りのような寒くて雪の多い気候、広大な土地や火山などの地形を生かした観光業が行われています。人々の生活も厳しい自然環境に対応できるよう工夫して生活しています。</p>	
まとめ	5 次時の予告と振り返り	・振り返りシートに記入する。	

<別紙資料>

北海道地方の地域的特色を説明しよう。

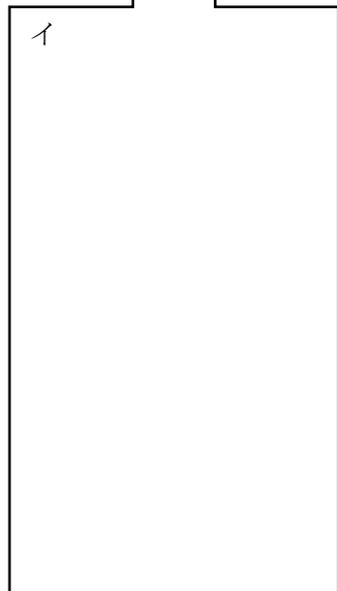
2年()組()番 名前()



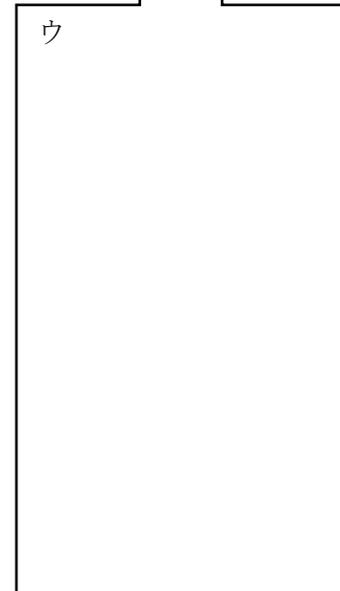
ア



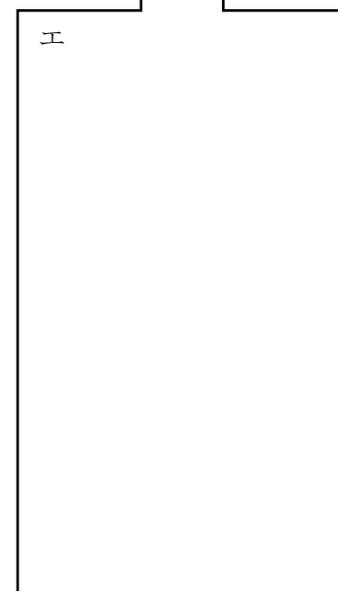
イ



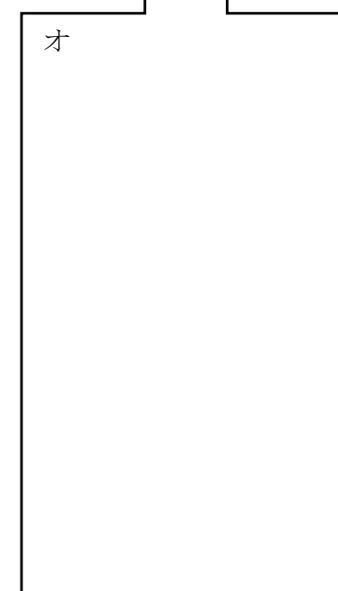
ウ



エ



オ



カ

